

50周年まで、あと1年

A Year to the 50th Anniversary



1973年、開学当初の農業に参加する高見敏弘先生（右から2番目）と当時の学生、ボランティア

アジア学院は来年2023年で50周年を迎えます。これまでの50年を祝い、次の50年に向かうために、学院内では日々新たな歩みを始めています。この臨時号ではそんな「現在進行形」の歩みをご紹介します。

次の50年を見据えて

荒川 朋子（校長）

今から51年前の1972年の春、独立戦争直後の混乱から這い上がるうとしていたバングラデシユに、日本から救援活動のために高見敏弘先生ら、後にアジア学院の創設に関わる農村伝道神学校東南アジア農村指導者養成所のスタッフと50人の若者が入りました。高見先生はこの若者たちについて「はつきりとした宗教的バックグラウンドを持つものはあまりいませんでしたが、皆、とても霊的に深いものを持ってはいました。現地に入ると彼らは慣れないベンガルの文化と地政にすばやく適応し、派遣された村々で回教徒、ヒンズー教徒、キリスト教徒、仏教徒、はたまたアニミストの村民たちと見事なまでに共に汗を流したのです。」と評し、彼らの姿に「アジア学院の幻を見たことを語っています。「これら青年ボランティアたちの、きついけれども楽しい作業に献身的に打ち込む姿、そして村人たちが見せる熱狂的な対応に深く心動かされた私は、アジアの農村を念頭に置いた農村リーダー訓練・育成計画の創設とその実践という幻を描くこととなりました。」

慣れない環境の中、辛くても嬉々として働くエネルギーな青年たちと、彼

ら感謝の気持ちで受け入れられるバングラデシユの人々が共に生きる新しい世界、それを高見先生が体験しなければアジア学院が生まれることはなかったでしょう。

このアジア学院の原風景に見えるのは、多種多様な人々が呼び集められて、互いに支え合い、互いに愛し合うようになるという世界です。ここから始まった幻は現実となり、アジア学院はその原風景に似た世界を、毎年できるだけ忠実に再現しようと努力してきたのではないかと思います。毎年世界中から多種多様な人間たちが呼び集められ、神様が創造された自然と協働して、共に働き、共においしい食事をいただき、共に学び、共に祝い、共に楽しむ、つまり共に生きるコミュニティを形成することは、この上ない神様からの「贈り物」です。

今、これからの50年を考えた時、私たちはこの贈り物をもっと多くの人々と共有したいと思い、ここから始まる未来に向けて「農村の未来のために共に学ぶ」というテーマを与えられました。一見聞きなれたフレーズにも思えますが、この



About 5 Major Issues

重点5分野解説



組織 Organization

ホール・キャンパス・アプローチを実行する主体はアジア学院という組織であり、組織が強くなければ他の4要素を実行することもできません。したがってこの要素はホール・キャンパス・アプローチの基礎といえます。組織の最も重要な財産である職員の幸福を保証し、地域との協働や参加型運営を通して人材を育てていきます。

(畜産・チャブレン/ティモティ・B・アパウ)



教育 Education

教育機関であるアジア学院にとって、教育は活動の中心です。しかしその教育は、一般的な学校とは大きく異なります。学生たちは実践を大切に、多様性を保ちながら違いから学びます。学院の中だけではなく、地域や卒業生ともつながり、学びあいます。そしてここは多くの人が訪れる、開かれた学びの場でもあるのです。

(副校長・教務/大柳 由紀子)



土からの平和

Peace from the Soil

平和な世界を築く第一歩は空腹を満たすことだと信じています。しかし私たちの働きはそこで終わりではありません。聖書に「人はパンだけで生きるものではない」とあるように、全人格を育てることが私たちの目的です。信仰、文化、芸術に重きを置き、豊かな心から生まれる愛、謙遜、尊厳こそが平和な生き方を可能にすると信じます。

(共同体生活/真木 メレディス)



フードライフ

Foodlife

フードライフとは、大自然の中で循環するいのちとその多様性を大切に、ともに汗を流しながら土を耕し、本来の栄養ある健康な食べものを作り、料理し、分かち合い、その恵みを日々神に感謝することです。神、人、自然を愛しつつ、食糧主権、気候正義、災害に強い農業など食糧自給の実践を通してともに学び合っていきます。

(副校長・農場長/荒川 治)



Climate Justice and Action

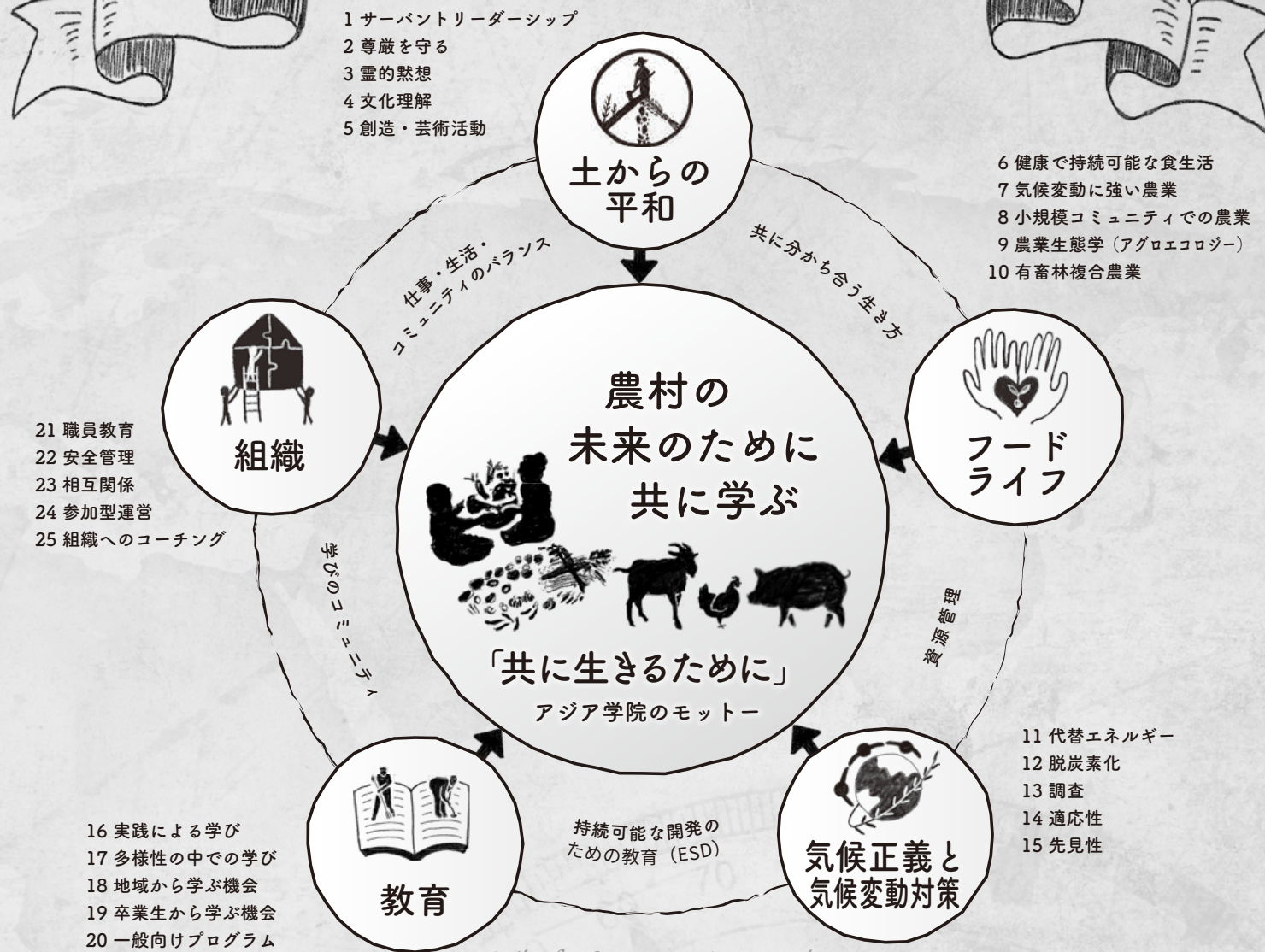
気候正義と気候変動対策

気候正義とは、気候変動の影響や負担、利益を公平・公正に共有し、貧困層やマイノリティの権利を保護するという考え方です。具体的には、太陽光や水力などの代替エネルギーへの転換や炭を用いた脱炭素化を目指します。また海外の学生にとっても適応性のある方法で、先見性を持ちながら、身近にある資源や人材を探究していきます。

(畜産/真木 凌)

アジア学院 次の50年ビジョン

VISION FOR THE NEXT 50 YEARS



Whole Campus Approach

ホール・キャンパス・アプローチ 重点5分野と25のアクション

アジア学院50周年に向けての方針

農村の未来のために共に学ぶ

アジア学院のこれまでの50年間の歩みを振り返るとき、私たちは感謝と謙遜の念に満たされます。「持続可能な農業と生き方を身に着けた農村指導者たちの育成を通じて、健全な環境を持ち公正かつ平和な世界を構築する」という学院の使命に導かれて歩みを進める中で、世界中の数えきれない農村コミュニティを力づけてきました。これは多くの方々の信頼と参加がなければ成しえなかったことです。このことを覚えて、「共に生きるために」の精神のもと、アジア学院ファミリーの皆様と共に、この時を喜び祝いたいと思います。

50周年にあたり、私たちは学院の使命を改めて確認し、農村の未来のために共に学ぶことに力を尽くします。私たちが目指す未来とは、人と土とが互いを大切にする未来です。このために、私たちは環境への意識、フードライフ、サーバントリーダーシップ、自己の気づき、そして霊性を中心に据えた教育プログラムを通じて、学びのコミュニティを広げていきたいと考えます。これらのプログラムの価値観と技術は学ば人々にとって大きな気づきとなり、次世代のための建設的な行動を起こしていくきっかけになるでしょう。

私たちは、アジア学院を組織として強くしていくにあたり、学院キャンパスのコミュニティから得られる学びを理解し、利用し、分かち合うことに重点的に取り組みます。この「ホール・キャンパス・アプローチ」では、フードライフ、教育、気候正義と気候変動対策、組織のレジリエンス(回復力)への総合的な取り組みを通じて、「土からの平和」をより深め、また伝えていくことを目指します。

(1ページからの続き)

テーマには、素晴らしい神様からの贈り物として与えられたこの学びのコミュニティを、これからの未来においても、もっともっと多くの方々と共に学ぶことのできる開かれた場として再創造していきたいという強い決意が込められています。

そして私たちはこの理想の「共に学ぶコミュニティ」の姿を、大きく「フードライフ」、「教育」、「気候正義と気候変動対策」、「組織」、「土からの平和」という5つの分野から総合的に取り組むこととしました。このように、キャンパス全体から多角的に、また多くの方々の参加を得て新しい「共に学ぶコミュニティ」の創造に取り組むことを「ホール・キャンパス・アプローチ」と呼び、皆さんにより分かりやすく、より参加していただきやすいように示していきます。その中でも特に来年度の50周年に当たっては、「気候正義と気候変動対策」分野の再生可能エネルギーの更なる活用と資源管理を、また「教育」分野のESD (Education for Sustainable Development) 持続可能な開発のための教育(関連のプログラムの深化と開発に力を入れていきます)。

しかしこれらの活動を根底から支え、また推進力となる文化を育むことは最も大切です。そこで私たちは「土からの平和」というアジア学院ならではの平和の実現に努めていきます。アジア学院が先の大戦において人間が犯した罪深い行為に対する悔い改めの業として始まったことを忘れず、全てのいのちを尊び、謙虚に土に生きる姿勢から生まれる平和を求め、実現し、広げていくことを目指していきたいと思っています。ウクライナやミャンマーなど、世界中で起きている暴力が一日も早く止み、ひとりひとりが平和で柔和な世界に生きることができるよう切に祈り続けながら。

新学期スタート

2022年度の研修が始まりました！



4月9日に行われた入学式には来賓、ボランティア、学生と職員が参列

ご支援に感謝いたします

2022年1月1日～2月28日（敬称略・順不同）

寄付金がアジア学院に入金された日に基づき掲載しております。入金日は、口座振替の場合はご決済の1ヶ月後、クレジットカードの場合は2ヶ月後です。

サポーター寄付 一般寄付 寄付者御芳名

【北海道】池田美奈子 平野伸吾 三橋修（教）野幌教会（教）利別教会【青森県】木村幸子（カ）本町教会【宮城県】門間清（学）尚綱教会 中学高等学校（教）仙台青葉荘教会（教）仙台北教会【山形県】奥泉三千代 荘内教会 保育園【福島県】会津農村伝道センター（教）須賀川教会（教）山都教会【茨城県】板橋和子 大柳綾子 島崎小乙里（教）水海道教会 水戸友の会【栃木県】阿部真希子 鮎瀬征夫 荒川朋子 飯島惠子 飯島亘子 飯塚仁美 飯沼一浩・淳子 岩川靖子 大谷雅代 大塚宏一 大森貴子 大柳由紀子 小川万里子 小倉一郎・恭子 鍛冶美奈子 川崎圭子 河田ゆり子 吉川宗芳 君島佳弘 木村裕子 久家康雄 栗原陸美 グレイ恵子 小林克良 小堀朋子 駒場昌子 坂入貴子 佐藤範明 沢谷千亜紀 杉山早苗 高見信子 田上聡 田上利子 田上中 田上正子 田上徳子 田中淳子 並木レベッカ 西川峰城 西田京子 丹羽芳雄 長谷川恵子 林真智子 原田明子 潘炯旭 福田良子 藤井祐子 又木成美 McCurley 里美 三浦宏子 宮岡明子 村田榮 森川有理 森戸カイ 和田献一・静枝 渡邊茂子（一財）アジア農村交流協会（教）足利東教会 宇都宮友の会 河内キリスト集會 蔵菜（有）菜音（学）さつき幼稚園（教）西那須野教会（学）みふみ学院みふみ認定こども園（学）矢板学園やいたこども園（教）四條町教会【群馬県】亀田瑋子（教）甘楽教会（学）共愛学園中学校・高等学校（学）共愛学園前橋国際大学 高崎友の会【埼玉県】東治子 北野啓子 小西さい子 武真人 千村雅信 戸井田紗耶香 柳澤芳信（教）上尾合同教会（教）浦和東教会 川越友の会（教）越谷教会（教）埼玉通り教会（教）草加教会（教）所沢みくに教会（教）西川口教会（公）日本聖公会北関東教区【千葉県】佐久間健 佐藤伊一郎 佐藤豊美 張元文 曜山崎尚子 山本栄子（教）市川三本松教会（教）鎌ヶ谷教会（教）千葉本町教会（教）西千葉教会（教）四街道教会【東京都】（公）聖マーガレット教会 会津菜穂 岩切勉 植木あゆみ 梅澤やよひ 鹿島照代 柄澤真理子 久世陽子 黒田俊介 小林克己 佐藤太郎 佐藤照子 佐藤雅子 柴崎等 菅川拓也 関京子 高野美惠子 高山アキ子 竹野裕子 建元喜寿 貫川治樹 浜田めぐみ 深谷いづみ 本田典子 三井田純子 森哲也 森川恵美子 山田祐彰 李明生 ガードナーリチャード 青山学院初等部（学）青山学院中等部 青山学院幼稚園（教）阿佐ヶ谷教会（公）インマヌエル新生教会（教）江古田教会（教）奥沢教会（公）葛飾茨十字教会（教）吉祥寺教会 教会学校（公）清瀬聖母教会（教）銀座教会 恵泉女学院大学キリスト教センター（公）小金井聖公会 国際基督教大学教会（教）国分寺教会（学）女子学院（教）白鷺教会（教）杉並教会（公）聖オルバン教会（公）聖パウロ教会（カ）聖ベルナデッタ第一修道院（カ）聖霊奉侍布教小金井聖霊修道院（公）聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂（教）洗足教会（教）玉川教会（教）鶴川北教会（教）鶴川教会（教）田園調布教会 田園調布地域諸教会合同祈禱会実行委員会（公）東京諸聖徒教会（公）東京聖十字教会（公）東京聖テモテ教会 東京ユニオンチャーチ（教）豊島岡教会（教）成瀬が丘教会（教）西新井教会（学）日本聾話学校（教）野方町教会（公）八王子復活教会（教）原宿教会（教）東村山教会（教）ひばりが丘教会（株）婦人之友社編集部（教）本所緑星教会（教）松沢教会（カ）松原教会（教）三鷹教会（教）むさし小山教会 教会学校（教）武蔵野緑教会（学）明治学院高等学校（公）目白聖公会（教）弓町本郷教会（教）用賀教会（教）代々木上原教会（学）立教学院（教）霊南坂教会【神奈川県】穂田宗隆 秋山美知子 天野潤 荒井明子 石田伊志子 今川信夫 岩澤裕基 岩村悦江 梅澤昌子 江頭眞彦 加藤真規子 設楽道弘 柴田有 関根ゆかり 竹内光子 仲摩信行 中本尚孝 本田忠行 宮崎静一 横野千晶 渡邊彰（教）愛川伝道所 厚木幼稚園（教）伊勢原教会 パザー委員会（教）鎌倉教会（教）川崎教会（教）相模ヶ丘幼稚園（学）捜真学院（バ同）日本バプテスト厚木教会（教）まぶね教会（教）翠ヶ丘教会（学）横須賀学院 横浜祈りの集い（学）横浜英和学院（教）横浜上倉田教会（学）横浜共立学園（教）横浜本牧教会【新潟県】荒井真理（学）敬和学園高等学校 敬和学園大学

（教）新潟教会（教）東中通教会 教会学校【山梨県】大久保絹 賀川一枝 田中耕太郎（学）聖愛幼稚園 峡南幼稚園【長野県】青木栄作 柴田光昭 朴大信（教）富士見高原教会（教）松本筑摩野伝道所【静岡県】鈴木静恵 武井陽一 山下清二 吉沼紀美代（教）伊豆高原教会（教）稲取教会（キ）静岡池田教会（学）静岡英和女学院中学校・高等学校 宗教部（学）聖隷クリストファー中・高等学校 宗教部（教）南豆教会（教）松崎教会【愛知県】松本知恵（学）名古屋学院名古屋中学・高等学校【滋賀県】太田宜子【京都府】上田祐未 櫻井鋭子 塚本智 中村吉夫【大阪府】大本和子 川茂茂 陳野友洋（教）阿倍野教会（学）大阪女学院大学・大阪女学院短期大学（教）希望ヶ丘教会（学）清教学園（教）天満教会（教）浪花教会 婦人会（公）東豊中聖ミカエル教会【兵庫県】今井真理 ギリガン朱里 黒田喜久子 平尾享三・孝子 藤井道雄 山本佳子（学）関西学院宗教活動委員会（学）関西学院高等部（学）啓明学院（教）甲東教会（教）神戸イエス団教会（教）仁川教会【広島県】野村篤子 福山天使教会 天使幼稚園【香川県】大下和典・久美子 木村富美子【愛媛県】河井宇史（教）新居浜西部教会【福岡県】市津武文 中島菜々子【鹿児島県】大谷ともよ のぞみ幼稚園 友愛幼稚園【沖縄県】小笠原春野【海外】UNITED METHODIST COMMITTEE Homer&Lorraine Yerick Fund 山崎 陽子 Ozawa Joseph

寄付金		実績状況
1月	9,116,749円	合計 10,495,629円
2月	1,378,880円	
合計	10,495,629円	

【北海道】大竹陽子【宮城県】小林孝男【秋田県】大友武夫【茨城県】伏木節子 宮崎昌久【栃木県】柏谷重明 片桐洋史 加藤正雄 釜井加代子 久留生利美 黒崎めぐみ 佐原市郎 津久井貴之 又木成美 森藤美由紀 和田献一 宇都宮友の会 案校 de マルシェ 臥龍会 那須塩原市社会福祉協議会【群馬県】亀田瑋子 清水真由美 須藤まさ子 永井順子 高崎友の会【埼玉県】鈴木俊之【千葉県】小林明子（バ同）運河キリスト教会【東京都】大野綾子 小嶋達夫 小見寿 田中維武 中里威 中村美果子 能登尚子 野村紘子 原英左恵 藤木祥子 本田典子 三井田純子 渡辺真理子 多摩友の会 天の魚出前プロジェクト【神奈川県】遠藤抱一 川上静子 鈴木尚子 内藤美穂子 平沼隆志 弘中章子 福井敏之 WE ショップ ころほく 日吉店【富山県】碓井道子【静岡県】佐柳光代 松村芳男 山下清二【愛知県】林真史【大阪府】相原正温【福岡県】松隈桂子【大分県】カッピングスティーブン

【栃木県】小沼絵美 小俣敏子 貝塚恒夫 岸正子 黒崎彰子 佐藤有幸 杉田万由子 堀光晴 堀内紀江 森藤美由紀 吉田光江（特活）キッズシェルター ヒヤマ種苗店【埼玉県】渋谷陽介 山内良哉【東京都】平塚洋子（株）建設設計アーキフォルム【神奈川県】長島典子【兵庫県】日下優佳

（医）医療法人（医社）医療法人社団（学）学校法人（カ）カトリック（株）株式会社（教）日本基督教団（キ）日本キリスト教会（公）日本聖公会（公財）公益財団法人（公社）公益社団法人（財）財団法人（社）社団法人（宗）宗教法人（特活）特定非営利活動法人（バ同）日本バプテスト同盟（福礼）日本福音ルーテル教会（有）有限会社

物品寄付をお願いします！

- 募集中
 - 卵パック（紙、プラスチック）
 - 米袋（5kg、10kg、30kg）
 - 裁縫用布切ハサミ
 - 包丁（収穫など農作業用）
 - 食用油脂廃油（バイオディーゼル、石鹸作り用）
 - 毛布（家畜用）
 - タオル類（家畜用）
 - ブレンダー/フードプロセッサー（キッチン用）
 - ミシン（寮用）
- × 現在受け付けていないもの
 - 毛布以外の寝具（布団など）
 - 衣類、鞆、食器類（新品、中古品ともに）

※恐れ入りますが、お品物の送料はお送り主様にご負担くださいますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
※ご送付の際は事前にメールかお電話、FAXにてご一報ください。

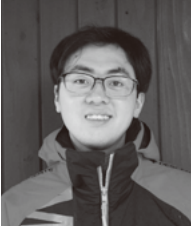
2022年度 学生（農村指導者研修プログラム）

日本



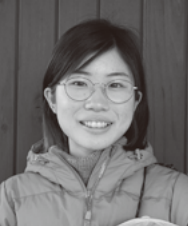
須田 愛結 Ayumi

コロナ禍で自分自身と深く向き合うことになり、これからの人生を豊かに生きる事について考える中でアジア学院と出会いました。人と自然がバランスよく共生するために何ができるのかを考えていきたいと思います。



得丸 拓海 Takumi

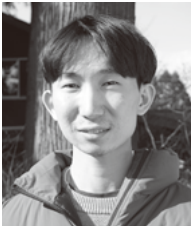
本をきっかけにアジア学院を知りました。貧しい人や助けを必要としている人に「上から」何かをするのではなく、彼らが真に自立して歩んでいけるように「一緒に」何かをしていくリーダーシップを学びたいです。



中島 のぞみ Nozomi

高校卒業後に留学を予定していましたが、アジア学院での短期滞在を経験し、違いを受け入れ合う環境に魅力を感じました。将来は自給自足の農的な暮らしを通して社会に貢献していきたいと考えています。

日本



古条 知也 Tomoya

大学では農学部で農業や国際協力分野、環境分野について学びました。アジア学院で有機農業などの知識を深め挑戦していく中で、持続可能な社会の実現や国際協力分野において、私が行う取り組みを見つけます。

エチオピア



デミセ・ソロモン・デュフェラ Solomon

エチオピアの大学で農業を学んでいました。コミュニティの人々が持続可能な形で、また健康な心で生きることができるように助けたいです。農業を通して気候変動と貧困に立ち向かいます。



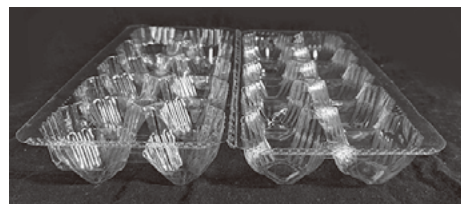
デガガ・ワクシュ マ・ゲレタ Degaga

専門学校で建築を学びましたが、農業を学べる機会に感謝しています。コミュニティの人々の健康と食料安全保障のために、作物の多様性を改善していきたいです。有機農業は社会変革のための最大の希望です。

リサイクル通信

卵パックについてのご願い

プラスチックゴミの量を削減するため、卵パックは学院内流通のものを中心にリサイクル品を利用してあります。一方で、回収できる卵パックは、手で押さえなくても180度開くもののみです。また、汚れ等のあるもの等はお控えください。ご理解をよろしく願い申し上げます。



研究科生（卒業生インターン）

日本

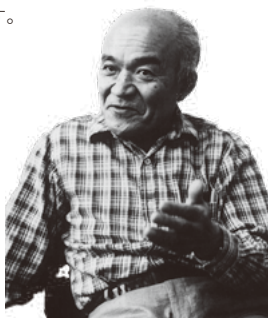


小松原 啓加 岡田 英里 加藤 圭介

50周年に向けてアジア学院を読もう!

ARI BOOKS

今こそ高見先生のことばに触れる

50周年に
向けて英語版
発行準備中!日英
バイリンガル『The Heartbeat of Takami
- 乏しさを分かち合う -
高見敏弘のことば』2018年発行
1冊 ¥500 (税込)時代を経ても色褪せず、誰の心にも
まっすぐに響く高見先生のことばを
厳選した語録。いのちや平和、自分
自身の生き方を見つめるきっかけに
なります。高見敏弘著
『土とともに生きる』1999年発行
1冊 ¥2,500 (税込)アジア学院の創設と精神、その裏付けとなる
神学、いのちを軽視する現代世界への警鐘、
そして高見先生自身の波乱万丈の人生をまと
めた濃厚な一冊。

NEW! 「euodoō 土に生きる未来学」第6号

アジア学院の紀要「euodoō (ユオー
ドー)」第6号が4月1日に発刊しました。
アジア学院の卒業生、元ボランティア、職
員が学院での学びや重要なコンセプトを
論じているほか、高見先生による演説も
収録しています。

1冊 ¥800 (税込)

アジア学院ホームページからPDF版をダウンロード
(無料)することもできます。バックナンバー
もあります

卒業生の働きを知る

時を経てもアジア学院の精神に根差し、奉仕す
るリーダーとして活躍する卒業生たちのストー
リー集。日本から遠く離れた世界各地の農村
で、人々と共に働く彼ら・彼女らのドラマが、
色鮮やかな写真と共に綴られています。英語版も
ありますカッティング&アブマ著
『農村指導者たち』

アジア学院卒業生の活動と地域への貢献

2017年発行
1冊 ¥1,000 (税込)

プレゼント

出版物をお買い上げの皆様にも、
アジア学院40周年記念誌「草の根
の指導者と共に-40年の歩み-」
を無料でプレゼントします。

書籍のご注文は、同封のチラシをご参照の上、お電話またはメール(sales@ari-edu.org<佐藤あて>)でお願いいたします。

NEW STAFF

新職員紹介

篠田 快さん

学生選考課・50周年企画準備
(2022年4月より)2020年度に長期ボランティアをしていました。
ひとりでも多くの学生が安心してアジア学院で学べ
るよう努めています。

GREEN ENERGY

アジア学院太陽光発電レポート

期間	発電量 kWh	CO ₂ 排出削減量 kg-CO ₂	
2021/10/1~ 2/28	6,908	3,112	= 成木:222本分 石油:1,568ℓ分
累積 2020/10/1~	25,708	11,582	

今年度の収穫感謝の日 (HTC) について

2022年度の収穫感謝の日 (HTC) は、10月15日 (土)・16日 (日) を予定しております。例年は10月第2土曜・日曜の開催ですが、今年度は第3土曜・日曜となりますので、あらかじめご了承ください。形式は新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、近くなりましたら決定し、お知らせいたします。